



市長 倉 久保田 桂朗

## 市制100周年に向けた次の50年へ

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、幸多き新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃から市政の推進に、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市は昨年12月1日に、市制50周年を迎えることができました。これもひとえに、市政運営にご尽力いただきました関係者の皆様、そして郷土を愛し、住みよいまちづくりのため共に歩んでいただきました市民の皆様のおかげと深く感謝いたします。

市制50周年の記念すべき日を迎えるにあたり、市民の皆様とともに様々な記念事業を企画し準備してまいりましたが、イベントの多くは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、残念ながら中止又は延期せざるを得ない状況となりました。

そのような中、五条川の季節の風物詩である伝統ののんびり洗いとゆかりのある「こいのぼり」を市民の皆様により紙で作っていただき、その展示数を競うイベントを昨年11月23日に

開催し、見事19万3275枚という大記録でギネス世界記録®の認定を受けることができました。この事業では、5千人を超える大変多くの市民の皆様により紙をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。ひとつひとつの折り紙はとても小さなものですが、市民の皆様の思いが込められたその折り紙が、総合体育文化センターのアリーナを埋め尽くす光景は、その偉大な記録とともに、深く記憶に刻まれることとなりました。

また「いわくら名産品開発事業」では、エントリーいただいた市内事業所の創意と工夫により新たに11品目を開発していただき、これまで親しまれてきた16品とともに岩倉の名産品として認定させていただきました。

さらに、希望の相手へ10年後、20年後に想いを届ける「夢レター〜未来への手紙〜」、市民の皆様が夢の実現を応援する「市民の夢 協えるプロジェクト」など市民の皆様一人ひとりの大切な思いを未来につなげるお手伝いができるよう取り組んでいます。

本市の中心部を流れる五条川は、日頃、散歩やジョギングなど多くの市民の皆様により親しまれ、変わらない日常のひとつとなっています。その五条川にある桜並木は、本市の象徴として先人の方々に受け継がれ、大切に守り育てられてきました。私たち岩倉市民の「さくら」を

大切に思う気持ちと、将来にわたりさくらのまちとして発展し続けることを願い「さくら」を市民の花木として、昨年12月1日に制定いたしました。今後も、市の木「くすのき」と市の花「つじ」とともに、市民の花木として大切に育ててまいります。

さて、新型コロナウイルス感染症は、わたしたちの暮らしに大きな影響を与え、未だ収束を見通すことが難しい状況ではありますが、まずは、希望される全ての方が速やかに3回目のワクチン接種も受けていただけるよう、医師会など関係各所にご協力をいただきながら、体制を整えてまいります。

また、引き続き市民の皆様への命と健康を守ることを第一に、この難関を共に乗り越え、新しい生活スタイルに応じたより豊かな市民生活を実現することができるよう全力で取り組んでまいります。

結びに、令和4年はわたくしたち岩倉市にとって、これからの50年が始まる第一歩の年となります。一歩ずつ着実に歩みを進め、この岩倉市を次世代に継承し、発展させるべく市政を進めてまいります。そして、市民の皆様一人ひとりにとって健やかで笑顔あふれる年でありますよう心から祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

# 新春あ



市長 伊藤 隆信  
岩倉市議会

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、新しい年を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日ごろより市議会に対する温かいご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和4年の輝かしい新春を迎えるにあたり、市議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、市制50周年という記念すべき年でありました。本来ならば、多くの行事で市民の皆様といっしょに50周年をお祝いできることを楽しみにしておりましたが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が度々発出されるなど、感染対策を第一とした生活を余儀なくされ、行事も自粛せざるを得ない状況でした。

私たちの普段の生活においても不要不急の外出や移動の自粛を求められ、事業者に対してはテレワークの徹底、営業時間の短縮、感染防止ガイドラインの遵守等を要請されました。また、医療提供体制を心配する声も聞かれました。市議会といたしましても議会傍聴の自粛をお

願いながらの開会となりましたが、令和2年5月に設置しました新型コロナウイルス感染症対策支援特別委員会において、喫緊の課題を議論し市へ要望書を提出するなど、市のコロナ対策を支援してまいりました。

国内では2月に医療従事者等への新型コロナウイルスワクチン接種が始まりました。現在では岩倉市においても多くの市民の皆様が2回の接種を終えられています。国によると、ワクチン接種により、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果が期待されると言われています。しかし、世界に目を向けるとコロナ禍がいつ収束するのかわたに目途が立たない状況です。今一人ひとりにできることを見つめ直し、引き続き、市民の皆様には「いわくらしやすいで新しい生活様式」の実践にご協力いただきたいと思っております。

コロナ禍ではありますが明るい話題もございました。東京オリンピック・パラリンピックの開催です。開催は1年延期されましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染が始まって以降、世界が初めて一堂に会する大会となり、かつてない連帯感が生まれました。また、脱炭素社会を推進した大会でもあり、メダルや表彰台がリサイクルから生まれるなどカーボンニュー

トラルな大会として注目されました。

そして、海外に目を向けますとメジャーリーグ大谷翔平選手の投打にわたる活躍です。その活躍はニュース雑誌において「世界で最も影響力のある100人」に選ばれるなど、私たちに大きな夢や希望、勇気、そして感動を与えてくれました。常識にとられない投打の活躍は、私たちの日々の挑戦に対し、不可能と言われることも可能にできる、常識にとられないことなべく挑戦する勇気を私たちに与えてくれたかのように思います。

今後の社会情勢の見通しを考えましても、市政に対する需要もますます複雑かつ多様化してきております。平成23年に制定しました「岩倉市議会基本条例」の理念に基づき、議会改革の最中ではありますが、市議会の役割・機能が高められるよう、さらなる改革に努め、新たな時代の住民福祉の増進につながるよう「みんなの笑顔で輝くまち」を目指して、より一層努力してまいり所存でございます。

結びに当たり、市制50周年を迎えた岩倉市が次の50年への飛躍の年となりますように、そして新しい年が市民の皆様方にとりまして、元気で幸せな年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

“みんなの笑顔で輝くまち”を  
めざして